

	するスポーツ	みるスポーツ	支えるスポーツ
ハードウェア	<p>①施設の効果的・効率的な整備・運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アセットマネジメントの推進 2. 環境にやさしい効率的な設備の推進 (*26 再掲) 3. ひとにやさしい施設の改修・整備 (*27, 35 再掲) 4. 府市協調などによる施設整備 5. スポーツ施設の在り方に関する将来構想の策定 6. ネーミングライツ契約を活用した施設整備 (*43 再掲) 7. 身近なスポーツ環境の整備 8. 市民に身近な施設の利用促進 (*34 再掲) 9. 施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供 (*36 再掲) 10. 競技ニーズの多様化に対応した受入種目の拡充検討 (*37 再掲) <p>＜主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画の策定 (たけびしスタジアム京都 <H26>, 河川敷を除く 13 公園 <H30>) ・太陽光発電の設置 (ハンナリーズアリーナ<H25>, 宝が池公園運動施設体育館<R1>) ・LED照明への改修 (宝が池公園運動施設体育館<R1>, 小畑川中央公園テニスコート<R2>) ・ユニバーサルデザインの理念に沿った改修・整備 (宝が池公園運動施設体育館<R1>) ・府市協調で進めるスポーツ施設整備 (H25～) ・たけびしスタジアム京都 (大型映像装置等の整備及び新メインゲート設置 <H27>メインスタンド諸室及びトイレ改修工事 <H28～R2>) ・横大路運動公園再整備, 防火機能強化 (太陽光発電等の防災機能向上 <H27～28>, 園路整備 <R1～>) ・たけびしスタジアム京都 1 種公認継続に向けた改修工事 (R2) ・公園への健康器具の設置 (104 公園 (R2. 3. 31 現在)) ・小中学校の夜間照明設置・修繕, 夜間校庭・学校体育施設開放事業等 ・施設の供用時間拡大や無料開放日の実施 ・フェンシングやテックボールなどの施設利用受入種目の拡充 	<p>④競技環境と観戦環境の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> 25. 国際的・全国的規模のスポーツイベントに対応した施設の充実 26. 環境にやさしい効率的な設備の推 (*2 再掲) 27. ひとにやさしい施設の改修・整備 (*3, 35 再掲) 	<p>⑦だれもが利用しやすい施設の提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 34. 市民に身近な施設の利用促進 (*8 再掲) 35. ひとにやさしい施設の改修・整備 (*3, 27 再掲) 36. 施設の柔軟な管理運営及び良質なサービスの提供 (*9 再掲) 37. 競技ニーズの多様化に対応した受入種目の拡充検討 (*10 再掲) <p>・下鳥羽公園球技場人工芝張替 <H23></p> <p>・宝が池公園運動施設球技場人工芝張替 <H24></p> <p>・京都アクアリーナ競技大会運営システム改修 <H24></p> <p>・ハンナリーズアリーナ大規模改修 <H24～25></p> <p>・吉祥院公園野球場改修工事 <H25></p> <p>・伏見桃山城運動公園野球場改修 <H25～26></p> <p>・わかさスタジアム京都スコアボード改修 <H25～26></p> <p>・宝が池公園運動施設内に体育館を新設 <H25～R1></p> <p>・ネーミングライツの導入及び継続, 施設の整備・改修 (わかさスタジアム京都, ハンナリーズアリーナ, 大和ハウスパーキング京都市宝が池フットサルコート, たけびしスタジアム京都)</p> <p>・水垂運動公園 (仮称) の整備に向けた取組を推進 (整備基本計画の見直し策定, 官民連携手法導入可能性の検討等)</p>
ソフトウェア	<p>②年齢や個性, 環境に応じてだれもがスポーツを楽しむ機会の提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. 気軽に体を動かすための場の設定 12. ウォーキングイベント等に関する情報発信の充実 13. スポーツを楽しむためのプログラムの提供 14. ニュースポーツの普及・振興の取組の強化 15. 障害のある人を中心としたアダプテッドスポーツの普及・充実 16. 障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ機会の充実 17. 親子や多世代で楽しめるスポーツ機会の拡充 18. 子どもの多様なスポーツ体験機会の創出 19. 「京都スポーツの殿堂」事業の推進 <p>＜主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ講習会, 小中学校での夜間校庭開放事業 ・スポーツウェブ京都でのウォーキングイベント等の情報発信 ・スポーツ教室や講座等の開催 ・体振事業や指定管理者のイベントでニュースポーツ体験会等の実施 ・障害者スポーツセンター等の運営, 障害者スポーツ教室や競技体験会等の実施 ・全国車いす駅伝や全京都障害者総合スポーツ大会の開催 ・市民スポーツフェスティバルや京都ツーデーウォークの開催 ・スポーツ少年団, 子ども体育館, 少年スポーツ広場の運営 ・スポーツの殿堂入り者の表彰, 伝道事業の実施 	<p>⑤総合スポーツイベントなどの開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 28. 「京都マラソン」の更なる定着・発展 29. プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームの支援・振興 (*47 再掲) 30. 国際的・全国的規模のスポーツイベントの誘致促進 31. スポーツツーリズムの推進 (*22 再掲) <p>＜主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都マラソン」の開催 <2012 大会～> (参加ランナー数: 15,211 人, 沿道応援者数: 約 427,000 人 (2020 大会)) ・プロチーム (サンガ, ハンナリーズ, フローラ) の広報活動支援 ・小中高生を対象としたプロチームによるスポーツ教室の開催 ・プロ野球誘致促進 (公式戦・オープン戦等の開催) ・全国都道府県対抗女子駅伝競走大会, 全国高校駅伝 ・ラグビーワールドカップ 2019 抽選会, パブリックビューイング ・ワールドマスターズゲームズ開催準備 (開会式ほか 4 競技) ・観光地を巡る大規模スポーツイベントの開催 (京都マラソン, 京都ツーデーウォーク, 全国車いす駅伝等) 	<p>⑧スポーツを支えるしくみづくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 38. 市民ボランティアのしくみづくり・裾野拡大 39. 市民の多様な活動を支える人材の育成, 活動の支援 40. スポーツ推進指導員制度の充実 41. 個人・団体・企業等への表彰制度の充実 42. 京都市スポーツ振興基金の活用 43. ネーミングライツ契約を活用した施設整備 (*6 再掲) 44. スポーツ関連情報の総合提供 <p>＜主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都マラソンの開催 <2012 大会～> (ボランティア数: 約 7,800 人 (2020 大会)) ・体育振興会, スポーツ推進指導員の活動支援 ・スポーツ推進指導員の各種研修会への派遣, 新任時の年齢制限緩和・定年延長 ・スポーツ表彰 (定例表彰・随時表彰) の実施 ・京都マラソン, 西京極整備, ワールドマスターズゲームズ等における納税寄附金を積立, スポーツ振興財源として活用。 ・ネーミングライツの導入及び継続, 施設の整備・改修 (わかさスタジアム京都, ハンナリーズアリーナ, 大和ハウスパーキング京都市宝が池フットサルコート, たけびしスタジアム京都)
ヒューマンウェア	<p>③ワールドマスターズゲームズ等の大規模国際大会開催と運動した生涯スポーツの振興</p> <ol style="list-style-type: none"> 20. ワールドマスターズゲームズ 2021 関西を契機とした生涯スポーツの普及・振興 21. 関西広域連合を中心とした広域スポーツの振興 22. スポーツツーリズムの推進 (*31 再掲) 23. 文化プログラムと連携したスポーツイベントの実施 24. オリンピアン・パラリンピアンによるスポーツ教室等の実施 <p>＜主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワールドマスターズゲームズの開催準備, 機運醸成や関連事業の実施 ・ワールドマスターズゲームズ関連事業実施や関西スポーツの日のPR ・観光地を巡る大規模スポーツイベントの開催 (京都マラソン, 京都ツーデーウォーク, 全国車いす駅伝等) ・「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」の開催 ・京都スポーツの殿堂入り者による伝道事業をはじめ, オリンピアン等を活用した WMG 関連イベントの実施 	<p>⑥競技スポーツへの支援とその魅力の活用</p> <ol style="list-style-type: none"> 32. 「京都スポーツの殿堂」事業の推進 (*19 再掲) 33. 競技団体やプロ団体への企業支援の推進 <p>＜主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの殿堂入り者の表彰, 伝道事業の実施 ・京都府等とともに京都サンガを応援するTEAM京都コンソーシアムを設立 	<p>⑨スポーツを支える組織や団体等との連携・協働</p> <ol style="list-style-type: none"> 45. 体育振興会, 体育協会との連携・協働 46. 大学との連携・協働 47. プロチームをはじめとする地域密着型スポーツチームの支援・振興 (*29 再掲) <p>＜主な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント (市民スポーツフェスティバル, みんなのスポーツフェスタ等) の共催等による活動支援, 広報活動支援 ・競技スポーツ強化振興事業 ・全京都大学野球トーナメント大会の開催 ・京都マラソンやWMGにおける学生ボランティアの活用 ・プロチーム (サンガ, ハンナリーズ, フローラ) の広報活動支援 ・小中高生を対象としたプロチームによるスポーツ教室の開催